



—湾岸・アラビア半島ニュース—

イエメン：軍の再編と主な人事

10日、ハーディー大統領は国防省・参謀本部幹部の職務の改編、軍管区の再編をはじめとする、イエメン軍の機構再編についての複数の大統領令を発出した。主な変更点と人事異動は以下の通り。

- イエメン国内に7つの軍管区を設置、各々の司令部所在地を指定すると共に、司令官を任命。
- アリー・ムフシン・サーリフ第1師団司令官を治安・国防担当の大統領顧問に任命。
- アフマド・アリー・アブドゥッラー・サーリフ共和国防衛隊司令官（サーリフ前大統領の息子）を駐 UAE 大使に任命。

背景と反響

12日付のハヤート紙は、今般のイエメン軍再編についての諸決定を、サーリフ前大統領の親族・支持者のうち軍幹部として残っていた者を排除すると共に、2011年のイエメンの政治的混乱に伴って生じたイエメン軍の分裂状態に終止符を打つものであると報じた。サーリフ前大統領の親族の筆頭格が駐 UAE 大使に任命されたアフマド・アリー・アブドゥッラー・サーリフ氏であり、軍の分裂状態を象徴する立場にいたのがアリー・ムフシン・サーリフ氏であった。

今般のイエメン軍再編・人事異動は、イエメンでの政治混乱を調停する GCC 提案に沿って進められる政治過程の中で、アメリカとヨルダンの専門家の支援を受けて進められているイエメン軍の機構改革の一環として行われた。GCC 諸国、主要国、国連はこの決定を歓迎・賞賛し、イエメン軍からも支持が寄せられた。異動の対象となった高官も、主な高官は決定を支持すると表明した。